5　保健体育

学校番号	１０１３

令和８年度　保健体育科

教科	体育	科目	マリン実習 (集中講座)	単位数	１単位	年次	３年前期
使用教科書	「ＧＯ　ＤＩＶＥ」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目は、水辺スポーツを受講したうえで、３日間の実習でＰＡＤＩオープン/ウオーター・ダイバーの資格取得をめざします。

2　学習の到達目標

・バディ（同伴者）のみで、トレーニングを受講した海域もしくは、同等のコンディションで、水深１８m位浅の範囲内を潜ることができるようになる。
・スクーバダイビングのライセンス取得に必要な理論と技術、体力を習得することができる。
・学科・実技ともに安全に配慮してマリン実習を楽しむことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・海洋実習で必要な技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、ダイビングを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 ・健康・安全に留意して、水辺スポーツで学んだ知識・技能を身に付けている。	・実習場所の自然と歴史を学んだ知識を活用し、野外活動では仲間と協力しながら散策活動ができる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 ・ダイビングの学科や実技を通しての海洋実習計画を考えることができる。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせている。	・自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。 ・実習の結果や課題を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 ・公正・協力・責任・参画などの態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	マリン実習	オリエンテーション ダイビング学科の復習 プール実習 ダイビング実技 海洋ダイビング講習 海洋ダイビング実習 野外活動 実習振り返り	a:スクーバダイビング器材の技術や扱い方、潜水方法を理解している。 b:各内容を実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。また、海洋実習に向けた自己の課題にあった潜水計画を作ることができる。 c:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。	ノート レポート 学科テスト 技能観察 技能テスト	ノート レポート 受講態度の観察 ディスカッション	ノート レポート 受講態度の観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度